

10月17日 英彦山(福岡県)

若林 憲治

山名	英彦山 (福岡県) 1,199m	山行名	例会 二座目
ルート	奉幣殿 ⇒ 英彦山 ⇒ 南岳 ⇒ 英彦山 ⇒ 奉幣殿		
山行日	令和2年10月17日(土)	天候	曇りから晴れ
参加者	リーダー： 若林 男性： 西川 女性： 伊藤(多) 和田	サブリーダー： 山下	合計： 5名

ルート概略図



コースタイム

地名		時：分	地名		時：分
英彦山 登山口	集		南岳経由 英彦山神宮	着	
	発	10:15		発	14:20
英彦山神社	着	10:55	英彦山神社	着	16:20
	発			発	
英彦山神宮	着	13:00	英彦山 登山口	着	16:50
	発			発	
英彦山山頂 (昼食)	着			着	
	発	13:45		発	
英彦山神宮	着			着	
	発	13:50		発	

山行報告

当初の英彦山山行計画は前日16日(金)の登山日で有ったが、天気予報では福岡県田川地区は雨との情報で急遽久住山登山日を変更した事で雨に合う事はなかった。
 大分県久住山近くの宿泊地周辺明け方から本降りの雨で日程変更しなければ両山共に雨？
 田川地区の天気予報 10時頃から雨も上がるとの情報通り登山口到着時間帯にはすっかり雨も上がり青空に 幸いな事に本来両日雨の中での登山も日程入れ替えて全く傘不要の登山開始になった。流石に英彦山は日本三大修験霊場(羽黒山 大峰山)だけ有り登山コース2か所に鎖場あり修験場の厳しさを体感することが出来た。登山開始から石段が数千段続く 山頂1,200mの表示も実際は1,199m約3時間掛けて山頂に到着 避難小屋にて遅めの昼食 山頂からの展望を楽しむ 英彦山は北岳 中岳 南岳で三峰の最高峰で有る南岳迄足を延ばし登山の正面ルートを2時間40分掛けて下山 英彦山参り今回の登山ルートは、表参道の往復正面ルートで有り、愛宕山表参道往復ルート程度のリハビリ登山程度に考えていたが、結果は疲労が累積される山行に成った。今回より厳しい他の登山コースも選択肢に有ったが時間の関係で選択しなくて良かった。

ヒヤリハット 無し



英彦山山頂



英彦山神宮

英彦山登山感想文

若林憲治

仕事の関係で北九州小倉市内に6年 福岡市内に3年延べ9年間 九州に在住九州在住時近郊の低山も含めて登山の機会も有り(車で山頂近くまで行った山も含めて)かなりの山に登る事が出来た。しかし 英彦山 祖母山(別名 姥が岳)だけは何故か機会無く今日に至った。何故機会が無かったと言えば、何れの山に行くにも交通が不便で車の移動でも時間を要し、どちらかと言えば九州在住時の印象は両山ともインパクトも少なく地味で不人気な山であった様に思う。九州在住時 英彦山 祖母山に行かず今回の企画で両山登山を実施する事になる。何だか不思議な気がする。何故交通費の掛からない環境で登山せず今回は関西より交通費を掛けて登山に行くのか 登山環境が整ったからだろうか?

前置きが長くなったので本題に戻します。

大峰山 羽黒山 英彦山は日本の三大修験場と言われ1,300年余りの歴史も感じさせる霊場修験道であった。前日宿泊地のご主人より霊の強い神社で罪深い方は鳥居の前で金縛りに合い身体が動かなくなり鳥居を超える事が出来ませんよと意味深なお話を聞くも我々メンバーは問題なく通過 今回は時間の関係で一番距離も少ない楽な?正面コース(愛宕山で例えれば表参道の往復)の往復選択 ウォーミングアップ程度に考えていたが決して楽では無かった。奉幣殿からスタートして数千段あろうか? 登山道の整備はされていたが石段の連続と登り始めると鎖場が待っていた。長い距離の鎖場(二か所共)では無いので危険性を感じる程では無いが鎖場は鎖場である。登山開始時曇り空も標高が高く成るにつれ青空が顔を出し展望も開けてきた。3時間程掛けて英彦山神宮上宮に到着。英彦山神宮上宮は台風 多雨 地震に晒されたのか? 荒廃して今にも崩壊寸前で有った。何年掛けて補修するのか建て替えるのか見えておらず心配でもある。英彦山神宮上宮から2~3m程下山した所に休憩可能な避難小屋があり13時過ぎ到着で遅めの昼食を済ませた後 英彦山の三峰(中岳 北岳 南岳)の最高峰である南岳(1,199m)迄足延ばし2時間40分程掛けて登りと同じルートで全員無事に下山。

神宮上宮にてお会いした登山者の話

英彦山登山には、今回の正面コース以外 北岳コース 岳滅鬼山コース 南岳鬼杉コースの各登山コースあり、何れのコースも登山時間も距離も長く岩場や鎖場等も多く本当の修行コースには最高ですよとのアドバイス 次回チャンスが有ってもやはり正面コースかな。

